

# 聖餐式

---

恵比寿聖書フォーラム

2021.4.19



## 過越の祭り（ペサハ）

旧約聖書における三大祭りは、「**過越の祭り**」「**7週の祭**」「**仮庵の祭**」（すべて巡礼祭）ですが、それらには預言的意味があります。

### ○過越の祭り（ペサハ）

これが最も重要な祭りです。ユダヤ暦の最初の月、ニサンの月（今の3-4月）の14日に祝われました。

これは、**出エジプトを記念するために定められた祭り**です（出エ12章）。 ※春分の日にもっとも近い新月がニサン1日

この祭りの聖書的意味は、**主イエスの十字架の死によって、私たちが罪から解放されることを預言**するものです。

（2021年は、**3月27日夜**～4月3日日没まで）

※キリスト教界では、キリストが復活したのが日曜日だったということで、イースターの日には春分の日以降、最初の満月から数えて最初の日曜日と定められています。2021年は、**4月4日**

（出エ22：30）

30 あなたの牛と羊についても同様にしなければならない。七日間、その母親のそばに置き、**八日目**にはわたしに献げなければならない。

（レビ23:5-6）

5 第一の月の**十四日**には夕暮れに**過越のいけにえを【主】に献げる**。

6 この月の**十五日**は【主】への**種なしパンの祭り**である。七日間、あなたがたは種なしパンを食べる。

# ユダヤの祭りが意味すること

※ユダヤ暦の第一月（ニサン）は3～4月 ※太字 申命記16:1～17 三大巡礼祭

季節	聖書箇所	日付	祭り	記念	象徴
春	① レビ23:5	第1月の14日（アビブ→ニサン） ※春分の日 <sup>に最も近い新月が1日</sup>	<u>過越しの祭り（ペサハ）</u>	出エジプト	メシアの十字架の死
	② レビ23:6	第1月の15日～7日間	<u>種なしパンの祭り</u>	出エジプト	罪の清め
	③ レビ23:10	<b>安息日の翌日→日曜日</b> ※過越しの祭りから 数えた最初の安息日の 翌日	<u>初穂の祭り(大麦)</u> (ヨム・ハ・ビクリーム) ※ベコール 長子または幼子 創世記4:4	研究中 聖別？	復活 ※曜日指定の祭りだから イエス キリストは 故に日曜日に復活した
	④ レビ23:15-16	<b>日曜日</b>	<b>7週の祭り(50日→5旬節)</b> <b>ジャブオット（ペンテコステ）</b>	モーセの律法 出エジプトから49日目	メシアの律法(聖霊降臨)
夏	レビ23:22		端境期	貧しいひとのため	教会時代（異邦人伝道）
秋	⑤ レビ23:24	第7月の1日	ラッパの祭り（つのぶえ） 100回 100回目は、最大級で伸ばす 今のイスラエルでは、新年 ロシュ・ハシャナー		携挙
	⑥ レビ23:27	第7月の10日 ロシュ・ハシャナーの10日後	贖罪の日(ヨムキプール)		患難期（イスラエルの民族的救いまで）
	⑦ レビ23:34 ゼカリヤ14:16	第7月の15日 満月 7日間 (ティジュリは、9月～10月)	<b>仮庵の祭り（スコット）</b> (楽しい祭り)	荒野の放浪	メシア的王国

※旧約聖書に啓示されているピークは、メシア的王国なので、この予表を、永遠の御国 に比べたら、仮庵である

というような読込は、読込過ぎである。

※2021年のペサハは3月28日 シャブオットは5月17日、ロシュハシャナーは9月7日、ヨムキプール9月16日、スコットは9月21日～27日

**ペンテコステ 5月23日※カソリックとプロテスタント/グレゴリオ暦 6月20日※東方教会/ユリウス暦**

# 初穂（大麦）の祭り

すでに新約時代のユダヤ人は、

「**過越の祭り（1日だけ）**」

「**種なしパンの祭り（7日間）**」

「**初穂（大麦）の祭り（1日だけ）**」

の3つを、1つにして「**過越の祭りと言われる、種子なしパンの祭り**」として祝った。

（ルカ23：1）

1 さて、**過越の祭りと言われる、種なしパンの祭り**が近づいていた

○**初穂（大麦）の祭り**

**過越の祭りから数えた最初の安息日の翌日→つまり日曜日**

※イエスが十字架に架けられた年は、（金）**過越の祭り** （土）**安息日** （日）**初穂の祭り**となっていた。

## 7週の祭り（シャブオット）

過越の祭りとは7週の祭りの間に50日の間隔があるので、「第50」を意味するペンテコステ（ギリシア語）という名称が付けられました。**キリストの復活から50日目**

これは、**シナイ山での律法の賦与を記念する祭り**です。  
この祭りは、**聖霊降臨を預言するもの**です。

※2021年

**シャブオット 5月17日（月）**

**ペンテコステ 5月23日（日）** ※東方教会は、6月20日（日）

※キリスト教界では、キリストが復活したのが日曜日だったということで、イースターの日には春分の日以降、最初の満月から数えて最初の日曜日と定められています。2021年は、4月4日。

カトリックとプロテスタントはグレゴリオ暦を採用しているので、ペンテコステの日取りは同じです。  
正教会はユリウス暦を採用しているので、日取りが違います。

# 7週の祭り（シャブオット）がなぜ日曜日でないのか？

（レビ23：15-16）

15 あなたがたは、安息日の翌日から、奉献物の束を持って行った日から満七週間を数える。

16 七回目の安息日の翌日まで五十日を数え、あなたがたは新しい穀物のささげ物を【主】に献げる。

レビ記23：15-16の記述通りだと、初穂（大麦）の祭り（日曜日）から7週目、つまりシャブオットは日曜日になるはず。

現在は、そうではない。2021年5月17日（月）

おそらく2世紀以降の異邦人クリスチャンが、キリスト教からユダヤ色を排斥し、キリスト教徒とユダヤ教徒が、同じ日を祝うということが無くなっていったのと同時に、ユダヤ人の祝日の数え方も変わっていったのだと思われる。

なので、現代のユダヤ人は、**ペサハの第1日目から50日目**という数え方をするので、2021年は、5月17日（月）になります。

しかし、過越の祭りは、移動祭日なので、ユダヤ教とキリスト教のどちらも同じ日曜日にペンテコステを祝うタイミングの年がある。

## 仮庵の祭り（スコット）

贖罪の日の5日後、チスリの月（今の9月、10月）の第15日に始まる祭りです。  
7日間続き、最初と最後の日には聖なる会合が開かれます。

これは、その年の収穫の終わりを告げる祭りであり、**イスラエルの民が荒野を放浪したことを記念する祭り**でもあります。

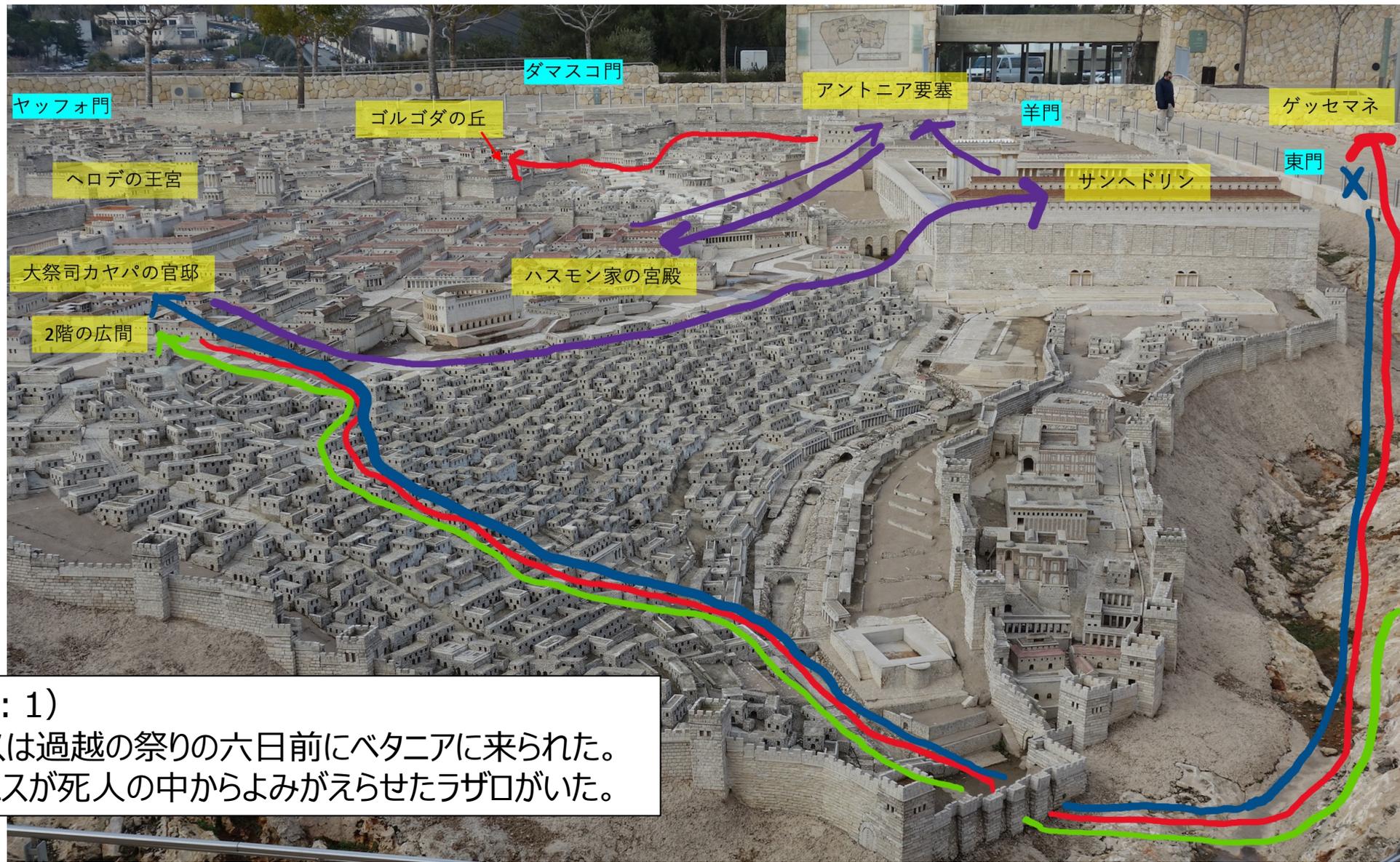
この祭りの間、人々は木の枝で作った仮小屋の中に住みます（レビ23：39：43、民29：12-38）。

この祭りは、**メシアの再臨によって確立するメシア的王国（千年王国）を預言**するものです。

2021年は、9月21日～27日



# AD30頃 十字架への道のり



(ヨハネ 12 : 1)  
1 さて、イエスは過越の祭りの六日前にベタニアに来られた。  
そこには、イエスが死人の中からよみがえらせたラザロがいた。

歌。コラ人の賛歌。指揮者のために。マハラテ・レアノテの調べにのせて。エズラフ人へ  
マンのマスキール。

1 主よ 私の救いの神よ

昼 私は叫びます。夜もあなたのみそばで。

2 私の祈りを あなたの御前にささげます。

どうか 私の叫びに耳を傾けてください。

3 私のたましいは 苦しみに満ち

私のいのちは よみに触れていますから。

4 私は穴に下る者たちとともに数えられ

力の失せた者のようになっています。

5 私は 死人たちの間に放り出され

墓に横たわる 刺し殺された者たちのようです。

あなたはもはや彼らを覚えてはおられません。

彼らは あなたの御手から断ち切られています。

6 あなたは私を最も深い穴に置かれました。

暗い所に 深い淵に。

7 あなたの憤りが私の上にとどまり

あなたのすべての波で

8 あなたは私を苦しめておられます。

あなたは 私の親友を私から遠ざけ

私を 彼らの忌み嫌う者とされました。

9 私は閉じ込められて 出て行くことができません。

私の目は苦しみによって衰えています。

10 主よ 私は日ごとにあなたを呼び求めています。

あなたに向かって両手を差し伸ばしています。

11 あなたは死人のために

奇しみわざを行われるでしょうか。

亡霊が起き上がり

12 あなたをほめたたえるでしょうか。

あなたの恵みが

13 墓の中で宣べられるでしょうか。

あなたの真実が滅びの淵で。

14 あなたの奇しみわざが

闇の中で知られるでしょうか。

15 あなたの義が忘却の地で。

16 しかし私は 主よ あなたに叫び求めます。

朝明けに 私の祈りは御前にあります。

17 主よ なぜ あなたは私のたましいを退け

私に御顔を隠されるのですか。

18 私は苦しんでいます。

若いころから死に瀕してきました。

19 あなたの恐ろしさに耐えかねて

私の心はくずおれそうです。

20 あなたの燃える怒りが私の上を越えて行き

あなたからの恐怖が私を滅ぼし尽くしました。

21 それらは日夜 大水のように私を囲み

瞬く間に 私を取り巻いてしまいました。

22 あなたは私から愛する者や友を遠ざけられました。

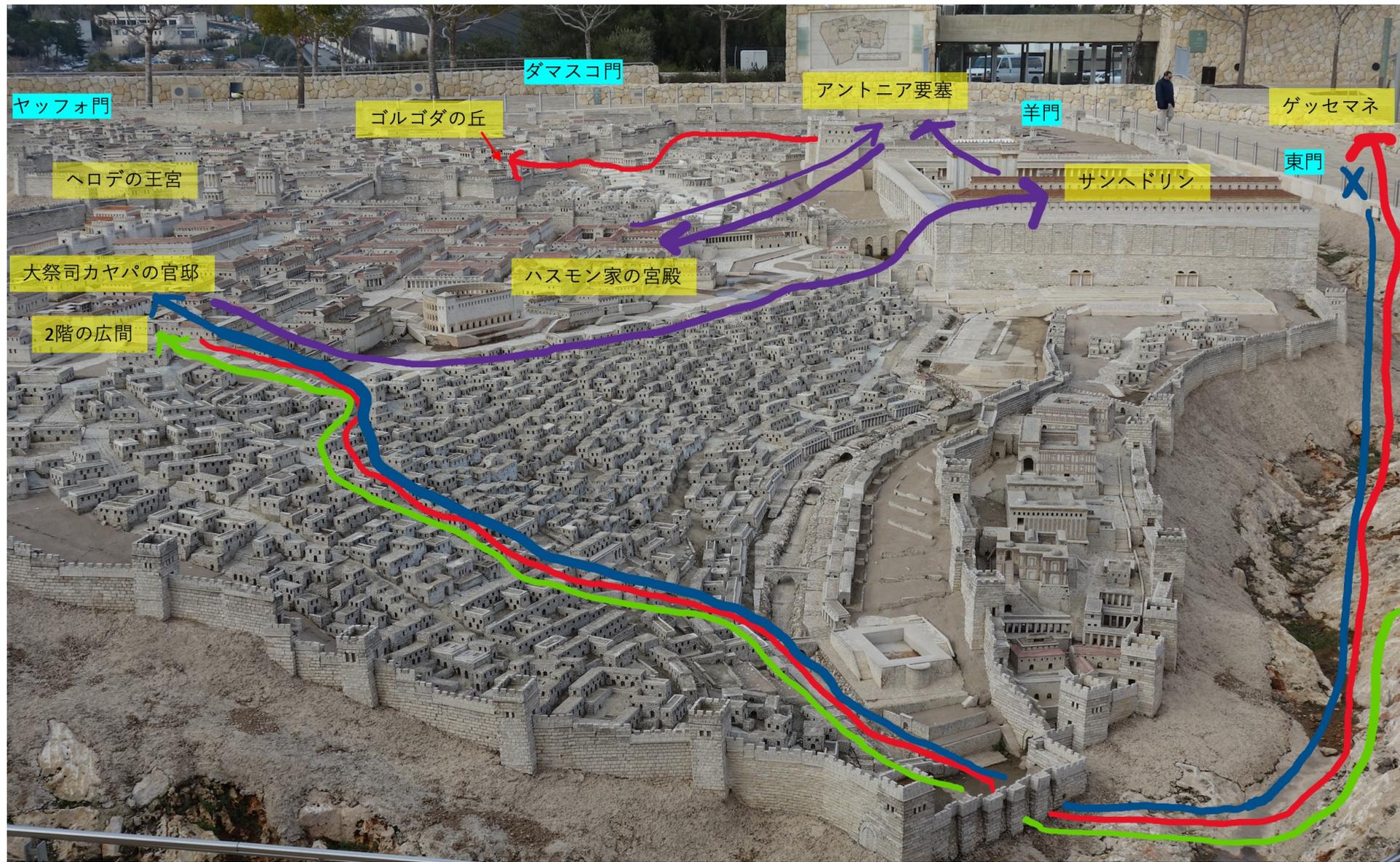
私は暗闇を親しい友としています。

セラ

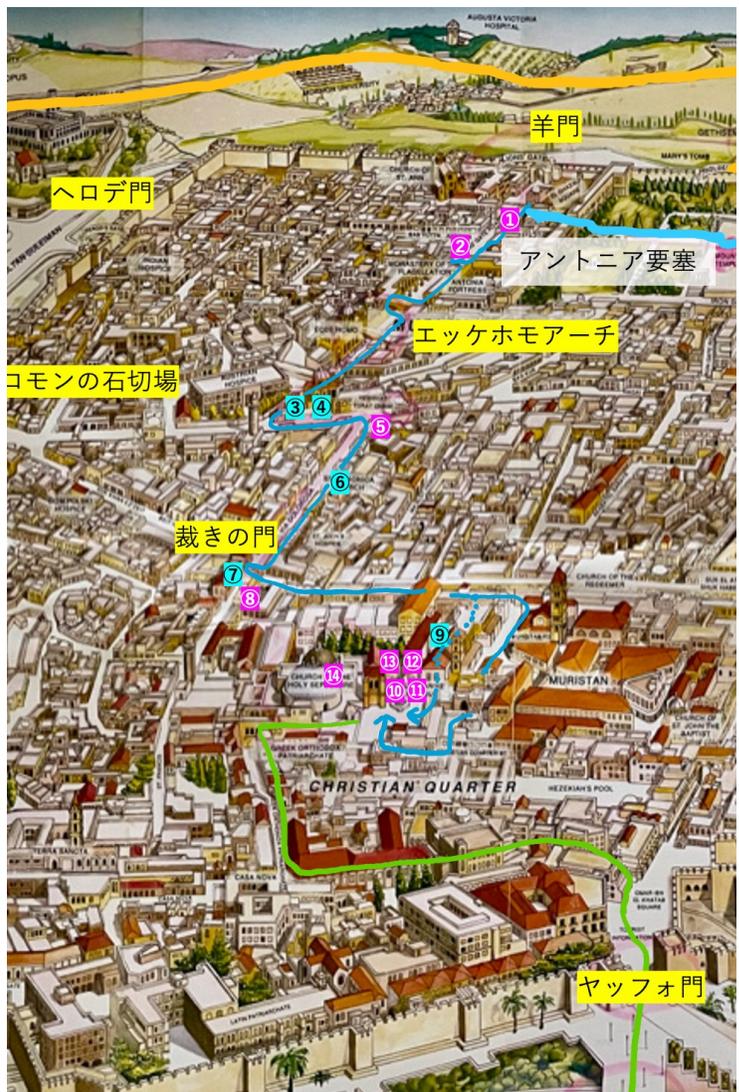
セラ



# AD30頃 十字架への道のり



# AD30頃 十字架への道のり



指揮者のために。「暁の雌鹿」の調べにのせて。ダビデの賛歌。

1 わが神 わが神  
 どうして私をお見捨てになったのですか。  
 私を救わず 遠く離れておられるのですか。  
 私のうめきのことばにもかわからず。  
 わが神 昼に私はあなたを呼びます。  
 しかし あなたは答えてくださいません。  
 夜にも私は黙っていられません。

3 けれども あなたは聖なる方  
 御座に置いておられる方 イスラエルの賛美です。  
 4 あなたに 私たちの先祖は信頼しました。  
 彼らは信頼し あなたは彼らを助け出されました。  
 5 あなたに叫び 彼らは助け出されました。  
 あなたに信頼し 彼らは恥を見ませんでした。  
 6 しかし 私は虫けらです。人間ではありません。  
 人のそりりの民的蔑みのです。  
 7 私を見る者はみな 私を嘲ります。  
 口をとがらせ 頭を振ります。  
 8 「主に身を任せよ。助け出してもらえばよい。  
 主に救い出してもらえ。  
 彼のお気に入りのだから。」

9 まことに あなたは私を母の胎から取り出した方。  
 母の乳房に抛り頼ませた方。  
 生まれる前から 私はあなたにゆだねられました。  
 母の胎内にいたときから あなたは私の神です。  
 11 どうか 私から遠く離れないでください。  
 苦しみが近くにあり  
 助ける者がいないのです。

第4のことば

- 12 多くの雄牛が私を取り囲み  
バシヤンの猛者どもが私を囲みました。
- 13 彼らは私に向かつて 口を開けています。  
かみ裂く 吼えたける獅子のように。
- 14 水のように 私に注ぎ出され  
骨はみな外れました。  
心は るうのように  
私のうちで溶けました。
- 15 私の力は 土器のかけらのように乾ききり  
舌は上あごに貼り付いています。  
死のちりの上に あなたは私を置かれます。
- 16 犬どもが私を取り囲み  
悪者どもの群れが私を取り巻いて  
私の手足にかみついたからです。
- 17 私は 自分の骨をみな数えることができます。  
彼らは目を凝らし 私を見えています。  
彼らは私の衣服を分け合い  
私の衣をくじ引きにします。
- 18
- 19 主よ あなたは離れないでください。  
私の力よ 早く助けに来てください。  
救い出してください。私のたましいを剣から。  
私のただ一つのものを犬の手から。  
救ってください。獅子の口から 野牛の角から。
- 20
- 21
- 22 あなたは 私に答えてくださいました。  
私は あなたの御名を兄弟たちに語り告げ  
会衆の中であなたを賛美します。
- 23 主を恐れる人々よ 主を賛美せよ。  
ヤコブのすべての裔よ 主をあがめよ。  
イスラエルのすべての裔よ 主の前におののけ。
- 24 主は 貧しい人の苦しみを蔑まず いとわず  
御顔を彼から隠すことなく  
助けを叫び求めたとき 聞いてくださった。

## 第5のことば

25

大いなる会衆の中での私の賛美は

あなたからのものです。

私は誓いを果たします。主を恐れる人々の前で。

どうか 貧しい人々が食べて満ち足り

主を求める人々が主を賛美しますように。

—あなたがたの心がいつまでも生きるように—

26

27

地の果てのすべての者が 思い起こし  
主に帰って来ますように。

国々のあらゆる部族も

あなたの御前にひれ伏しますように。

28

王権は主のもの。

主は 国々を統べ治めておられます。

地の裕福な者はみな 食べてひれ伏し

ちりに下る者もみな 主の御前にひざまずきます。

自分のたましいを生かすことができないう者も。

子孫たちは主に仕え

主のことが 世代を越えて語り告げられます。

30

彼らは来て 生まれてくる民に

主の義を告げ知らせます。

主が義を行われたからです。

31

### ○第6のことば

(ヨハネ19:30)

30 イエスは酸いぶどう酒を受けると、「完了した」と言われた。そして、頭を垂れて霊をお渡しになった。

### ○第7のことば

(ルカ23:46)

46 イエスは大声で叫ばれた。「父よ、わたしの霊をあなたの御手にゆだねます。」こう言って、息を引き取られた。

# 聖餐式の目的



## 1. キリストを記念すること（主が行われた義を記念）

- ・パンとぶどう酒が象徴しているもの
- ・無から有を作り出すお方
- ・命の源

## 2. キリストとの再臨の保証の確認 → 伝える

## 3. キリストとの交わり、信者との交わりの恵

※自己吟味

（レビ17：11）

11 実に、肉のいのちは血の中にある。わたしは、祭壇の上であなたがたのたましいのために宥めを行うよう、これをあなたがたに与えた。いのちとして宥めを行うのは血である。

# 信仰者の人生

(創世記1:1)

はじめに神が天と地を創造された。

(創世記1:27)

神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして人を創造し、男と女に彼らを創造された。

(創世記2:7)

神である【主】は、その大地のちりで人を形造り、その鼻にいのちの息を吹き込まれた。それで人は生きるものとなった。

(伝道者の書12:7)

土のちりは元あったように地に帰り、霊はこれを与えた神に帰る。

(ヨハネの福音書3:16)

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

(第一コリント人への手紙 15:51-52)

聞きなさい。私はあなたがたに奥義を告げましょう。私たちはみな眠るわけではありませんが、みな変えられます。終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうちに変えられます。ラッパが鳴ると、死者は朽ちないものによみがえり、私たちは変えられるのです。

## 自己吟味

(第1コリント11：23～29)

23 私は主から受けたことを、あなたがたに伝えました。すなわち、主イエスは渡される夜、パンを取り、

24 感謝の祈りをささげた後それを裂き、こう言われました。「これはあなたがたのための、わたしのからだです。わたしを覚えて、これを行いなさい。」

25 食事の後、同じように杯を取って言われました。「この杯は、わたしの血による新しい契約です。飲むたびに、わたしを覚えて、これを行いなさい。」

26 ですから、あなたがたは、このパンを食べ、杯を飲むたびに、主が来られるまで主の死を告げ知らせるのです。

27 したがって、もし、ふさわしくない仕方でパンを食べ、主の杯を飲む者があれば、主のからだと血に対して罪を犯すことになります。

28 だれでも、自分自身を吟味して、そのうえでパンを食べ、杯を飲みなさい。

29 みからだをわきまえないで食べ、また飲む者は、自分自身に対するさばきを食べ、また飲むことになるのです。

# 聖餐式



(マルコ14 : 22)

22 さて、一同が食事をしているとき、イエスはパンを取り、神をほめたたえてこれを裂き、弟子たちに与えて言われた。「取りなさい。これはわたしのからだです。」

祈り

(マルコ14 : 23)

23 また、杯を取り、感謝の祈りをささげた後、彼らにお与えになった。彼らはみなその杯から飲んだ。

24 イエスは彼らに言われた。「これは、多くの人のために流される、わたしの契約の血です。」

祈り 賛美